

熊本地震発生直後より被害調査を実施し、現場を支援

○橋梁、堤防等の迅速な被災調査

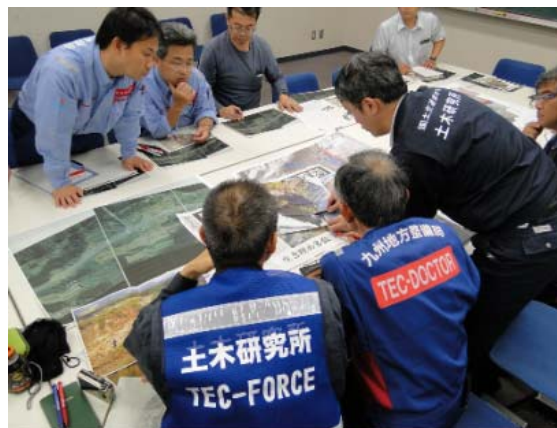
- ・橋梁について4月15日(前震発生翌日)現地入り以降4月28日までに連続的に第7班まで土研TEC-FORCE等、専門家派遣を実施
- ・河川堤防についても、4月15日、10日後、出水調査など実施
- ・その後も要請派遣や自主調査を断続的に実施

○調査結果の報告・公表

- ・調査結果は速やかに現場と共有し、対応方針の検討を支援
- ・橋について災害直後から実施した被害調査結果は5月中旬に本省に報告
- これをベースとした被害状況が社整審道路分科会道路技術小委員会(6月24日開催)の資料として公表
- ・詳細な被害調査は土木研究所資料第4359号として2017年3月発行



地方整備局職員との被災状況調査(4月16日)
(緑川の堤防被災箇所)



地整との打合せ(4月18日)
(国道57号斜面崩落及び阿蘇大橋崩落)



熊本県との打合せ(4月19日)
(県道熊本高森線関連橋梁)